

白内障治療の実力病院として 当院が掲載されました！



医療健康

白内障治療の実力病院 (2015年4月～16年3月に「手術あり」が900例以上)

医療機関名	所在地	診療実績		運営体制 医療機能 評価機関 (点)	施設体制 多焦点 眼内レン ズ	施設体制 緑内障治療 インプラ ント挿入術
		手術あり	手術なし			
市立室蘭総合病院	北海道	1104	—*	71		
旭川赤十字病院	北海道	1030	—*	76		
旭川赤十字病院	北海道	1024	—*	74*		
旭川赤十字病院	北海道	969	—*	71*		
岩手医科大学	岩手県	1309	—*			○
独協医科大学	栃木県	1076	—*	68*	○	○
自治医科大学	栃木県	952	—*	73*		○
さいたま赤十字病院	埼玉県	1074	—*	73*		
千葉医療センター	千葉県	997	—*			
三井記念病院	東京都	3579	—*		○	
東京医科大学	東京都	1589	—*			○
昭和大学病院	東京都	1546	—*			○
公立昭和病院	東京都	1533	—*			○
東京慈恵会医科大学	東京都	1509	—*	77*	○	
東京都健康長寿医療センター	東京都	1222	—*		○	
順天堂大学順天堂医院	東京都	1177	22	72*	○	○
東京医療センター	東京都	1115	—*	75*		○
J R 東京総合病院	東京都	1036	52	78		
多摩南部地域病院	東京都	1028	—*			
東京医大八王子医療センター	東京都	970	—*			○
東京大病院	東京都	956	—*	76*		○
東京医科歯科大学	東京都	943	—*		○	○
北里大病院	神奈川県	1831	—*	74*		○
相模原病院	神奈川県	1194	—*			
藤沢市民病院	神奈川県	1191	—*			○
湘南鎌倉総合病院	神奈川県	1133	64	76	○	
東海大病院	神奈川県	962	—*			○
けいゆう病院	神奈川県	916	—*	70*		○
聖隷三方原病院	静岡県	958	—*	76		
中京病院	愛知県	1049	12	72*	○	○
藤田保健衛生大医院	愛知県	1004	—*		○	○
名古屋第二赤十字病院	愛知県	938	—*	74*		
大阪労災病院	大阪府	4435	—*	72*		○
近畿大病院	大阪府	1460	—*	73*		○
関西大病院	大阪府	1225	—*		○	○
近畿大堺病院	大阪府	1143	—*			
大阪医科大学	大阪府	1091	—*		○	○
淀川キリスト教病院	大阪府	1091	—*	74*		○
関西医科大学総合医療センター	大阪府	1025	—*		○	○
大阪赤十字病院	大阪府	905	—*	72*		○
あさぎり病院	兵庫県	1254	—*		○	○
近畿中央病院	兵庫県	1092	—*		○	○
兵庫医科大学	兵庫県	1020	—*	75*	○	○
甲南病院	兵庫県	911	—*	73*		
天理よろづ相談所病院	奈良県	1366	—*			○
奈良県立医科大学	奈良県	1088	—*			
日本赤十字社和歌山医療センター	和歌山県	1157	—*		○	○
倉敷成人病センター	岡山県	1348	—*	75		
倉敷中央病院	岡山県	1329	14	80		○
住友別子病院	愛媛県	1076	—*	69*		○

(注)「多焦点眼内レンズ」は先進医療の1つで、日本白内障屈折矯正手術学会の研修を修了した眼科専門医などを配置したとして届け出た施設。「緑内障治療用インプラント挿入術」はチューブシャント手術などを50例以上実施しているなどの条件を満たしたとして届け出た施設

お断り 「向き合う」「こころの健康学」は休みました。

高年齢化で患者増
今回の調査で2015年4月～16年3月の「手術あり」症例が4435件と全国首位の大分労災病院(堺市)が、白内障に加えて、糖尿病が原因で目の奥にある

目の中でレンズの働きをする水晶体が濁って見えにくくなる白内障は、加齢に伴い誰にもなりうる病気。全国で年間140万人以上の手術が行われ、最も件数が多い外科手術の一つだ。日本経済新聞が実施した実力病院調査では、上位の病院は白内障に加えて糖尿病網膜症や緑内障などの病気を一緒に治療し、実績を上げていた。

白内障は水晶体を構成するたんぱく質が変性し、白色または黄白色に濁ってしまつた状態。水晶体を通る光が妨げられて視力が下がったり、光をまぶしく感じたりする。大半は加齢に伴うもので、厚生労働省研究班の報告書によると、水晶体の混濁は50代で37・54%、60代で66・83%、70代では84・97%、80歳以上は100%で起きている。

白内障の治療は、角膜を小さく切開して超音波を出す器具を入れ、細かく砕いて吸い取る「超音波乳化吸引術」を行い、水晶体の代わりとなる「眼内レンズ」を入れるのが一般的。白内障だけの手術であれば10、20分で終わり、日帰りも珍しくない。診療所で多くの手術が行われる一方、紹介患者が中心の大病院では白内障以外の目の治療も必要となるなど難しい症例を扱うケースが目立つ。

日経実力病院調査

白内障、緑内障と同時手術



白内障だけではなく日帰り手術も可能だ(倉敷中央病院、岡山県倉敷市)

総合病院 難しい症例に対応

白内障は水晶体を構成するたんぱく質が変性し、白色または黄白色に濁ってしまつた状態。水晶体を通る光が妨げられて視力が下がったり、光をまぶしく感じたりする。大半は加齢に伴うもので、厚生労働省研究班の報告書によると、水晶体の混濁は50代で37・54%、60代で66・83%、70代では84・97%、80歳以上は100%で起きている。

白内障の治療は、角膜を小さく切開して超音波を出す器具を入れ、細かく砕いて吸い取る「超音波乳化吸引術」を行い、水晶体の代わりとなる「眼内レンズ」を入れるのが一般的。白内障だけの手術であれば10、20分で終わり、日帰りも珍しくない。診療所で多くの手術が行われる一方、紹介患者が中心の大病院では白内障以外の目の治療も必要となるなど難しい症例を扱うケースが目立つ。

白内障だけではなく日帰り手術も可能だ(倉敷中央病院、岡山県倉敷市)

眼内レンズ 医師と相談

単焦点は保険適用

白内障手術では水晶体を取り除くため、代わりに眼内レンズを挿入する。基本的には健康保険が適用される「単焦点」を使う。焦点の合う距離が1カ所であるため、例えば遠くは遠くは見えにくくなる。一方、遠近両方を見ることが「多焦点」の眼内レンズもある。レンズは保険適用外だが、先進医療の対象であるため、検査費などは保険が適用される。手術後、眼鏡など生活で必要になる人も、夜間に車のライトがにじんで見えることもある。

調査の概要

調査は①症例数(診療実績)②医療の質や患者サービス(運営体制)③医療従事者の配置や医療機器などの設備(施設体制)の3つの観点で、病院選びの際に参考となる情報を、日経リサーチに依頼してインターネット上の公開データから抽出して実施した。

■診療実績 厚生労働省が2017年2月に公開した15年4月～16年3月の退院患者数や症例数とした。対象は病名や手術方式で医療費を定額とするDPC制度を導入した1677病院のなか、導入準備中などを除き3191病院。症例数の後の*は0～9例の誤差あり。「—」は0～9例。

■運営体制 公益財団法人「日本医療機能評価機構」(東京)が病院の依頼で医療の質や安全管理、患者サービスなどの項目を審査した結果を100点満点で換算。点数の後に*があるのは13年4月以降の評価方法「3rd G」で審査された病院で、各項目をS=4点、A=3点、B=2点、C=1点として合算、100点満点に換算した。

■施設体制 医療従事者の配置や医療機器などについて、厚生労働省が定めた診療報酬施設基準を満たしたとして各病院が届け出た項目を比べた。16年10～12月時点での届出受理医療機関名簿を集計した。

医療・健康面の記事やコラムに関するご意見、情報を募集しています。ファクス(03・6256・2774)か電子メール(iryuu@tokyo.nikkei.co.jp)でお寄せください。